

峰高同窓会報

2016 No.10

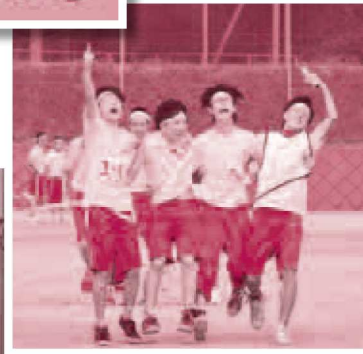
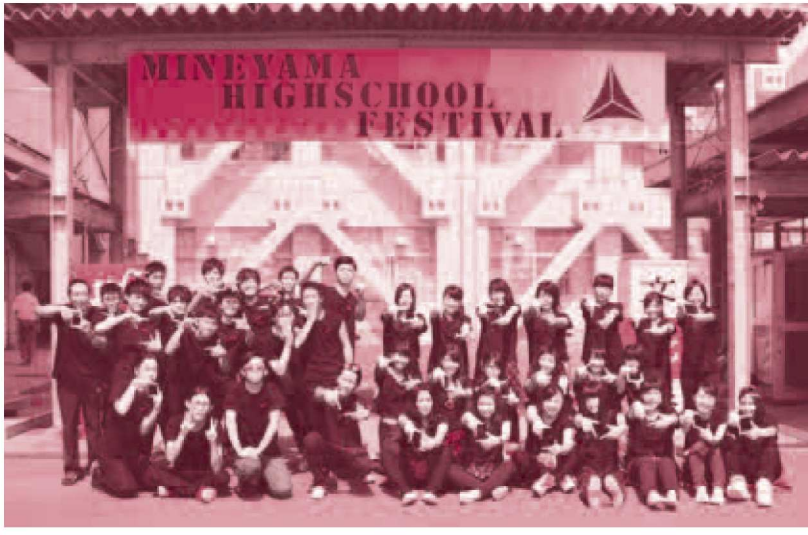
発行:平成28年 1月

デザイン・印刷

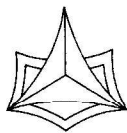
SALAT 株式会社 サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 Tel 079-284-1380

http://www.salat.co.jp/ Fax 079-224-7746



求めてやまじ
高き理想を!



京都府立峰山高等学校同窓会

〒627-8688 京都府京丹後市峰山町古殿1185

TEL 0772(62)1012 FAX 0772(62)1013



同窓会会長
野木三司

MITSUJI NOGI

ご挨拶

同窓会員の皆様には、平成28年の新春を健やかに迎えのとお喜び申し上げます。

平素は、峰山高校同窓会に格別のご理解とご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

私は、昨年4月の総会に於きまして2期目の会長職を拝命し、改めまして2万8千名を超える会員の皆様には、この重責を果たすことをお誓い申し上げます。また、同じく本部役員には若い世代の方々が多く加わり、新体制となりました。そして、この度退任されました役員の中には、30年近く務められた方をはじめ、殆どの方々10年以上役員としてご活躍され同窓会運営にご尽力頂きました。

大阪、京都、関東それぞれの支部につきましても、役員として運営に携わっていただく多くの方々により、毎年のように会員が一堂に会し親睦を図る機会を設けて頂いています。このように、峰山高校同窓会を支えておられる方々、支えてこられた方々全てに心より感謝申し上げます。

さて、各支部の懇親会、総会はもとより、卒業30周年記念同窓会や還暦同窓会などに毎年ご招待を頂きお話をする機会を頂戴していますが、丹後で暮らす方も他地域で暮らす方も、多種多様な分野で活躍されている方々の多さに驚くばかりです。地域や日本のみならず世界で羽ばたいている方々の母校、峰山高校はその長い歴史が物語るように人材の宝庫のようです。

その峰山高校が6年後、創立100周年を迎えるにあたり、記念誌の作製を予定していますが、戦前、戦中、戦後直後の写真などの資料が学校には殆ど残っていません。皆様からの情報提供を是非お願い致します。

最後に、「同窓会報」は同窓会会則により発行し会員の皆様に送付しています。母校の様子や各年度の活動状況、各支部の事業紹介などを学校と本部役員が連携し構成しています。送付に関しご理解の上、今後とも同窓会、母校に対しましてご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

高き理想を！

同窓会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして御理解、御支援を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は多くの活躍されている先輩のなかから特にお願いをし、野球評論家の野村克也氏と奈良県立医科大学名誉教授の高倉義典氏による講演会を開催しました。努力することの大切さや、夢を持って生きることの大切さをお話いただきました。このほかにも多くの同窓生の方々の活躍が、夢に向かって生きる姿勢の大切さを教えてくれるお手本として、生徒に大きな刺激となっており、教職員も大変勇気づけられています。

去る9月20日には、還暦同窓会が行われ100名を超える同窓生の出席があり、懇親会のなかで高校時代の思い出や現在の峰山高校への熱い思い、期待をお話いただき、沢山の示唆を頂戴しました。

本校は校歌の一節である「求めてやまじ 高き理想を！」を教育スローガン(校是)に掲げ、日々

の活動を展開しております。生徒は授業、部活動、ボランティア活動に励みながら希望進路の実現に向けて充実した高校生活を送っております。また、府立高校特色化事業において京都府からの指定を受け「グローバル・ネットワーク京都」のなかで「科学の教室」や「地域活動100」等に取り組むと共に、京都大学との連携事業も推進しております。

これらの活動をとおして教育目標である「心身ともに健康で、礼儀と規律を重んじ、人を思いやり、郷土を愛すると共に、高い志と柔軟な国際感覚をもって自己を高め、創造力豊かに社会に貢献できる人間」として生徒が育つことを目指しています。これらの活動や生徒の活躍は、峰山高校ホームページで随時発信をしておりますので、御覧いただければ幸いです。

結びに、同窓会会員の皆様の御健康と御活躍をお祈り申し上げますとともに、本校への御支援、御援助を引き続き賜りますことをお願いしまして御挨拶とさせていただきます。



校長
平井清司

KIYOSHI HIRAI

学校だより

現在、峰山高等学校の本校は普通科5クラスと産業工学科1クラスの計6クラス編成です。普通科は、1年時に標準3クラス・発展2クラスで構成されますが、2年時から進路希望等に応じて人間教養コース(2クラス)と文理探究コース(3クラス、そのうち1クラスは発展)に分かれます。一方、産業工学科は機械系統30名とデザイン系統10名で構成され、それぞれ専門分野を深く学んでいます。全校生徒数は689名(11月1日現在)で丹後通学圏

で最大規模の学校であり、教育スローガン(校是)の「求めてやまじ、高き理想を！」にあるように、学習、部活動、ボランティア活動などさまざまな分野で多くの生徒が活躍しています。

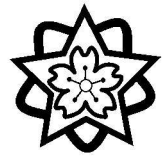
近年の活動の様子を以下のとおり掲載させていただきます。御覧ください。

(本校 副校長 足達哲也)

生徒の活躍 (平成24年～27年)

※平成は省略しています。IHは全国高等学校総合体育大会、Sはシングルス、Dはダブルスの略です。

デザイン	京丹後市立いさなご小学校(28年度開校)校章デザイン(越田美里)
数学	24年度京都数学コンテスト・奨励賞(金森理剛) 27年度京都・大阪数学コンテスト・アイデア賞(中西祐哉)
軽音楽部	26年第35回高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト"We are Sneaker Ages"グランプリ大会・大阪芸術大学賞(選考員特別賞)高校生バンドフェス'15 in 関西エリア・優秀バンド賞(部内バンド「ツインクル」)同・甲陽音楽学院特別賞(「ツインクル」ヴォーカル島田優真)
ESS	25年度府教育委員会主催「グローバルネットワーク京都交流会プレゼンテーション」・優秀賞
吹奏楽部	24年第25回アンサンブルコンテスト(舞鶴市吹奏楽連盟主催)・金賞 27年府吹奏楽コンクール高校の部小編成(府吹奏楽連盟主催)・銀賞
写真部	26年度・27年度舞鶴市展U-22・審査員賞各1名入選各7名 26年度丹後文化祭典・奨励賞
ロボット研究部	26年第22回京都アイデアロボコン大会・3位 27年第20回府高校ロボット大会・3位 27年第23回全国高校ロボット競技大会出場
アニメーション部	25年第18回丹後文化祭典・奨励賞(田中優基) 26年第19回同団体の部・特別賞 同個人の部・特別賞(梅田格弥・味田嗣社) 27年第20回同・奨励賞(大森加涉・蒲田真湖・堀江沙紀)
陸上競技部	26年IH男子やり投出場(小牧豊和) 27年第9回日本ユース陸上競技選手権大会女子やり投出場(中村風花)
男子バスケットボール部	24年度府高校新人大会府予選出場 26年第67回IH兼第61回近畿高校選手権大会府予選・ベスト16 27年同大会出場
女子バスケットボール部	25年度第66回全国高校選手権大会府予選兼第60回近畿高校選手権大会府予選～27年度の同大会・3年連続ベスト16 25年度第33回府高校選手権大会兼第44回全国高校選抜優勝大会府予選から27年度の同大会・3年連続ベスト16 26年度第62回府高校新人大会兼第25回近畿高校新人大会府予選・ベスト16
女子テニス部	26年度第34回府高校テニス選手権大会本選出場・S(本城みのり)同D(本城みのり・吉岡千咲) 27年度第35回府高校テニス選手権大会本選出場・S(大河綾香・平井菖)同D(大河綾香・新治日菜子)
卓球部	26年府高校秋季卓球選手権大会出場・女子D(笠次理沙・中西麻由香) 27年度同大会出場・女子D(笠次理沙・谷美由)同女子S(笠次理沙) 27年府高校春季卓球選手権大会出場・女子D(溝口華恋・谷美由)
バドミントン部	26年度IH府予選D・ベスト8、27年度同大会S・ベスト16 26年度近畿大会府予選S・ベスト16、同・Dベスト8 27年度同大会・Sベスト16 25年度府新人大会Sベスト16同D・ベスト8
体操部	25年度府高校体操競技秋季選手権大会体操競技女子2年生の部種目別平均台6位 同ゆか6位入賞(松本奈々) 27年度府高校体操競技秋季選手権大会体操競技男子1年生の部個人総合4位 同種目別ゆか5位 吊り輪4位 跳馬3位 平行棒4位 鉄棒4位 各入賞(宮垣巧)
剣道部	27年度第34回府立高校剣道大会男子個人の部・第2位(東剛志)



いさなご小学校校章



吹奏楽部定演(H27)



ロボット研究部



アニメーション部



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



バドミントン部

過去3年間の進路実績

進学

■過去3年間の卒業生合格状況(延べ)

●国公立大学(延べ120名)

鳥取(10) 滋賀(7) 京都教育(7) 島根(5) 徳島(4) 富山(3)
 福井(3) 神戸(3) 高知(3) 滋賀医(2) 三重(2) 京都工繊(2)
 大阪(2) 奈良女(2) 岡山(2) 金沢(1) 東京外(1) 浜松医(1)
 京都(1) 兵庫県立(7) 京都府立(6) 京都府立医(6) 大阪市立(5)
 岡山県立(5) 大阪府立(4) 尾道市立(3) 下関市立(2) 他

●私立大学(延べ697名)

京都産業(64) 佛教(58) 龍谷(55) 立命館(44) 近畿(34)
 同志社(27) 京都橘(26) 関西(16) 関西学院(13) 京都外(10)
 京都女子(10) 神戸女子(10) 大阪産業(9) 桃山学院(9)
 大阪経済(8) 大谷(7) 摂南(7) 藍野(6) 関西外(6)
 甲南女子(6) 京都文教(5) 大阪商業(4) 金沢工(4) 畿央(4)
 京都光華(4) 津田塾(4) 他

●短期大学(延べ75名)

島根県立大(2) 新見公立(2) 岐阜市立女(2) 三重(1) 長野県(1) 大月(1) 関西外大(9) 京都聖母女(6)
 京都文教(6) 近畿大豊岡(6) 神戸女(5) 龍谷大(5) 大阪成蹊(4) 湊川(4) 名古屋女子大(3) 華頂(3)
 関西女(3) 京都経済(1) 白鳳(1) 他

●専修各種学校・訓練校(延べ208名)

大原学園(9) 京都府立看護(7) 大阪医療秘書福祉専(7) 大原簿記専(6) 京都医健専(5) 京都動物専(4)
 京都理美容専(4) 京都栄養医療専(4) 舞鶴医療センター附属看護(4) 京都調理師専(4) 日産京都自動車大(4)
 関西美容専(3) 大原スポーツ&メディカル専(3) トヨタ神戸自動車大(3)
 京都芸術デザイン専(3) キャットミュージックカレッジ専(3)
 神戸医療福祉専(3) 大阪ビューティーアート専(3) 京都中央看護保健大(2)
 修成建設専(2) 他

●就職(60名)

公立学校事務職員(1) 京都府警察官(1) 日本郵便(株)(2) 自衛隊(1)
 (株)三豊(2) 日本冶金工業(株)(2) (株)ゼンショク(2) 奈良交通(株)(2)
 (株)三菱自動車工業(株)(2) 日進製作所(1) ヒロセ工業(株)(1) 大極殿(株)(1)
 丹後テクスタイル(株)(1) 河芳織物(株)(1) (株)さとう(1) 西村屋(株)(1) 他

	H24年度	H25年度	H26年度
国公立4大	43	28	26
私立4大	81	95	101
国公立短大	2	4	1
私立短大	12	18	18
専門学校等	65	67	66
就職	23	24	13

過去3年間の進路状況(実数)

就職



3年生 センター試験説明会

弥栄分校だより

今年度、全校生徒57名(農園芸科31名・家政科26名)でスタートしました。以前と比べるとずいぶん少人数になりましたが、少人数のメリットを活かしきめ細かで丁寧な授業や実習、生徒一人一人に光が当たる学校祭をはじめとする様々な行事など、生徒の輝く姿が多く見られます。

また、農園芸科・家政科の特長を活かし、「あっスポットセール(春の苗販売)」や「奈具丘祭(秋の収穫祭)」で地域の方に学校を公開したり、こども園や福祉施設、農業関連機関、他校の専門学科との連携を積極的に進めています。最近では生徒の活躍が認められ、農園芸科・家政科に地域の方から協力の依頼が寄せられるようになり、そのことが生徒の自信やさらなる成長につながっています。

(弥栄分校 副校長 江上猛志)



ジャンボ門松



1年生「農業と環境」実習

野村克也氏、高倉義典氏 講演会

● 野村克也氏 特別講演会

9月30日（火）昭和28年度卒業の野村克也氏による特別講演会を、同窓会役員とPTA役員様の参加を得て、弥栄分校を含む全校生徒を対象に実施し、以下のように話されました。「母子家庭で極貧生活を味わい、お金が稼げる仕事につきたい、お金を儲けて母親を楽にさせたいという強い思いがプロ野球選手を目指したきっかけだった。皆さんには夢を持って欲しい。夢の力はすごい。夢を持てばそのようになってゆくものである。どういう大人になるのかという設計図を書いて欲しい。自分自身が人生というドラマの主人公である。誰も助けてはくれない。自分で人生を切り拓いて欲しい。ただ、目標達成のためには努力は欠かせない。簡単な原理である。努力には即効性はないが、努力すれば必ず差が出るものである。自分に合った正しい努力をして欲しい。そうすれば必ず人はそれを見ていて評価してくれるものである。また人間は字の如く、人に支えられ人の中で生きてゆくものであることも忘れてはいけない。」



● 高倉義典氏 キャリア教育講演会

11月7日（金）、昭和36年度卒業の高倉義典氏（奈良県立医科大学名誉教授）をお招きし、「一卒業生から峰高生に伝えたいこと～京丹後から世界へ～」と題して講演をしていただきました。講演では、御家族を結核で亡くされたことから、医師を志され、未開発の分野の研究がしたいと、足首関節専門の外科医になられたこと。人工足関節を開発されたり、再生医療にも取り組まれ、現在国際足の外科学会初代理事長として世界的に活動されていること、Jリーガーなど多くのスポーツ選手も治療されていることやTV出演の様子などを話されました。生徒へのメッセージとして、①visionを持つ、②一生に一度は自分で何かをする、③新しいことに挑戦する、④中途半端にならない、⑤自分のしたことに責任を持つ、⑥窮余一策（諦めずに努力）、⑦英語学習、⑧海外留学・研修、以上8点の重要性を強調され、京丹後から世界へはばたいて欲しいと講演を締めくくられました。



創立100周年に向けてのお願い

峰山高校は2022年に創立100周年を迎えます。同窓会としましては学校と協力し、何らかの記念事業を実施したいと考えております。まだ何も具体化はしておりませんが、手始めといたしまして、学校に関してどのような資料をお持ちなのか、情報を提供いただきたいと思います。特に創立の大正11年から終戦直後の資料がありません。お寄せいただいた情報を元に、どのようにそれらを利用させていただくか検討したいと思います。

つきましては、先ず情報を最終ページに記載の事務局までお寄せいただきますようお願いいたします。

同窓会ニュース

57年卒 30周年同窓会 昭和57年卒業生

平成24年1月2日 プラザホテル吉翠苑（※同窓会に3万円の寄付を頂きました。ありがとうございました。）

58年卒 30周年同窓会 昭和58年卒業生

平成25年1月2日、30周年同窓会を177名の卒業生と8名の恩師の方々を含め、総勢187名の出席をいただき盛大に行うことが出来ました。懐かしい友との再会のひときは、本当に楽しいものでした。当時の思い出話に花が咲き、当時の面影が残っている人や、余りの風貌の変化に名札を確認して思い出す人や、3時間あっという間でした。

今は色々な職に就いていますが、集まれば皆同級生です。これが一番です。この会をきっかけに、又新しいおつきあいが始まれば大変嬉しく思います。みなさん健康に留意して、40周年、50周年を楽しみにしていただきたいと思います。
荻野清孝
（※同窓会に5万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。）



59年卒 30周年同窓会 昭和59年卒業生

2015年の新春を迎え卒業から30年そして50歳を迎える年に149名の皆さんと健康で再会できました事に感謝すると共に懐かしく若かりしあの時代を振り返りながら有意義な一日を過ごさせて頂く事が出来ました。

同じ学び舎で過ごした3年間の思い出話を花を咲かせ30年ぶりの新たな出会いに酒を酌み交わし大いに盛り上がる楽しいひと時でした。

50年、半世紀という一つの節目の年にまだまだ続く人生の大きな節目となる同窓会でした。同窓生の皆様には40周年50周年と続くであろう同窓会を楽しみに健康に留意され次なる再会を楽しみに日々邁進して頂きます事をご祈念申し上げます。
吉岡喜三雄
（※同窓会に5万円の寄付を頂きました。ありがとうございました。）



548年卒 還暦同窓会 昭和48年卒業生

平成26年8月14日(木) 11時半より京丹後市峰山町のプラザホテル吉翠苑で還暦記念同窓会を開催しました。出席者は恩師6名を含め105名でした。渡利校長や、野木同窓会長も同級生ということで大いに親交を深め盛会の内に終えることができました。

幹事会事務局 徳田隆男
（※同窓会に5万円の寄付を頂きました。ありがとうございました。）



549年卒 還暦同窓会 昭和49年卒業生

30周年の同窓会のとき「もう一度同窓会をやろう」という約束と、還暦を迎える年齢を記念しての同窓会でした。平成27年9月20日、同窓生109名と恩師2名がプラザホテル吉翠苑に集まり、高校時代の思い出やその後の人生ドラマを語り合い、卒業アルバムの顔写真入りの名札と見比べ42年間の時の流れを感じ、「絆」を再確認。最後に、参加者全員が手をつなぎ、一つの大きな輪となって「ふるさと」の大合唱で還暦同窓会を終えました。還暦は第二の人生のスタート。その節目の同窓会は意義深いものでしたが、今回は「もう一度同窓会をやるぞ」という約束は(残念ながら?)ありませんでした。
実行委員長 田崎敬章
（※同窓会に3万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。）



539年卒 昭和39年卒業生同窓会

（※同窓会に5万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。）

540年卒 卒業50周年記念同窓会 昭和40年卒業

♪♪いさなごの山なみ 遠くひく葦城が丘・・・
在校生吹奏楽部の演奏に乗せて、久しぶりの校歌斉唱。そして始まりました卒業50周年記念同窓会。

平成27年3月28日(土)恩師2名を含め90名の参加、第1部は母校体育館をお借りしまして、記念式典と峰高吹奏楽部のミニコンサート。第2部はホテルに会場を変えまして、同級生宮司によって本格的な祭壇が設営され、皆の今後の健康と再会を祈念し、神妙なるお祓いがありました。そして懇親会はいつものように話の花が咲き、ゲスト出演は、高校軽音界で名高い峰高軽音楽部のミニライブで盛り上がり、大いに楽しいひとときを過ごしました。

校長先生をはじめ同窓会ご担当並びに部活動顧問の先生方、そして在校生部員の皆様到大変お世話になり、盛大な催しとなりましたこと、心より御礼申し上げます。
吉田満夫
（※会費の中から峰高吹奏楽部と軽音楽部に御礼として10万円の寄付をされました。）



34年卒 卒業55周年記念同窓会 昭和34年卒業 第11期生

平成26年4月24日(木)ホテルグランヴィア京都

卒業時285名いましたが、病気などで50名の方とお別れして、現在は235名の会員となりました。55周年という「ゴー・ゴー」と語呂合わせが良いのか、89名もの参加、今までの同窓会の中で最高の参加者に皆でびっくりしていました。

いつもどおりの進行で、やはり各クラスの「今」の報告は聞き入ります。峰山高校の学科にも話が及び、特に卒業時にありました「工業化学科」「繊維科」が現在は無いとのことで、当時を感慨深く思い出しながら、感心したり納得したりでした。

何はともあれ、コースが違うのになぜか今日逢ったのに、何十年前がすぐに思い出されて和気あいあいとなるのは何なのかなあと思ひながら、やはりこれが同級生なのだと思ひてもらいました。そして和食のフルコースが花を添えて大盛況、あつという間の3時間、和やかないい一日でした。 岡本行光



27年卒 63周年同窓会 昭和27年卒業生

平成27年6月2日

昭和37年に10周年を峰山で繊維科のみのクラス会を手始めとし、昭和42年に15周年を全クラス260名の内115名参加の京都市で開催しました。その後、5年ごとに第9回まで丹後と京都市を交互に100名以上の参加者で同窓会を開催してきました。5年の間には、丹後や京都市や関東等の地域の同窓会を希望者のみで1泊旅行などいろいろな行事が開催できる仲良しクラスとして自画自賛しております。戦後の荒廃した時代、食糧難、学制改革など今と比較しても想像ができない悪い環境の中で高校時代を過ごしたのか気持ちのつながりが強いようです。私事ですが60年余頑張ってきた機業、家庭、健康と相談しながら残りの人生を頑張りたいと思います。

4期生同窓会 幹事 笠井栄市



各部だより



本部だより

第11回本部(幹事)総会を平成27年4月26日(日)、峰山町のプラザホテル吉翠苑にて行いました。総会には府会議員、峰山高校管理職、各支部来賓の御臨席を賜り、幹事、同窓会役員の出席により、役員のご選任並びに、事業・会計・監査の承認を受けました。また、各支部からの報告も頂きました。



京都支部だより

支部長 田中駿介(昭和39年卒)

京都支部に対し、日ごろ、何かとご協力・ご支援いただき本当にありがとうございます。当支部は、お陰様で発足後25年を迎え、年1回の懇親総会を下記の要領で行う予定で、現在準備を進めています。京阪神、それに奈良の方々に加え、京丹後からも多数お見えです。是非一度、皆様お誘いあわせの上ご参加下さい。

記

日時 平成28年2月28日(日)午前11時30分 受付
場所 京都市中京区 ANAクラウンプラザホテル京都
お問い合わせ 電話 06 (6365) 8133 田中まで



大阪支部だより

支部長 真柴誠市(昭和45年卒)

とうとう、多くの人が反対していた安全保障関連法が成立してしまいました。しかし、多くの若者が立ち上がり、この法案に反対していた姿が脳裏に焼き付いています。この国の希望はこれらの若者たちにあるように思いました。

大阪支部では、毎年1月に懇親会を兼ねた総会を大阪市内で開催しています。大阪支部の会員は大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県など京都府、滋賀県を除く近畿圏に在住しておられる、高校卒業後30年を経過された同窓生に案内を差しています。

今年は平成27年1月17日(土)に第56回総会・懇親会が大阪駅にあるホテルグランヴィア大阪で120名の同窓生が集まり、楽しいひとときを過ごしました。来年は、平成28年1月17日(日) 11時30分ホテルグランヴィア大阪で開催します。多くのおみなさまの参加をよろしくお願ひします。お問い合わせは、TEL 072-991-3534 真柴までお願ひします。



関東支部だより

代表幹事 尾瀬俊憲(昭和40年卒)

平成25・26年に関東支部総会を開催しました。ご来賓を初め、約100名の会員の皆様にご出席を頂き、有り難うございました。今後は隔年開催を計画しています。

次回は平成28年3月に開催します。平成32年(2020年)のオリンピックイヤーに向けて関東支部を盛り上げていきたいと、多くの皆様のご参加をよろしくお願ひいたします。若い方々も大歓迎です。

お問い合わせ TEL 03-5350-2590 尾瀬まで



～ 新役員 の 紹 介 ～

平成27年4月26日に第11回同窓会本部(幹事)総会で、次の方々が本部の新役員として承認されました。(平成27年から3年間)

大阪支部、関東支部にも若干の異動があります。御確認下さい。

	役 職	氏 名	卒年
同窓会本部	会 長	野 木 三 司	48
	副 会 長	森 米 子	38
	副 会 長	櫛 田 恵 里 子	45
	副 会 長	中 村 雅	48
	副 会 長	森 一 彦	51
	副 会 長	小 牧 敬 典	54
	理 事	高 倉 宏 尚	45
	理 事	田 中 智 子	49
	理 事	今 田 弘 一	50
	理 事	西 村 ま さ み	51
	理 事	山 本 一 之	52
	理 事	本 城 稔 恵	52
	理 事	平 井 良 行	53
	理 事	堀 孝 之	53
	理 事	豊 田 公 仁 子	54
	理 事	味 田 佳 子	59
	監 査	西 垣 光 俊	47
	監 査	糸 井 錦	48
	顧 問	垣 中 均	33
	顧 問	渡 利 謙 太 郎	48
事務局・会計	井 上 繁 之	53	
庶 務	荒 田 博 隆	平 8	
庶 務	上 田 将 太	平 15	
庶 務	日 達 誉 之	55	
庶 務	行 待 利 康	64	
京都支部	支 部 長	田 中 駿 介	39
	副 支 部 長	平 井 義 昌	30
	副 支 部 長	井 上 裕 子	39
	副 支 部 長・兼 会 計	沖 忠 之	38
	事 務 局 長	田 中 賢 一	47
	相 談 役	中 西 信 八 郎	23
	相 談 役	三 本 同	29
大阪支部	相 談 役	井 塚 義 人	33
	支 部 長	真 柴 誠 市	45
	副 支 部 長	安 達 学	43
	会 計	藤 本 か よ	41
	相 談 役	平 井 義 太 郎	20
	相 談 役	小 林 亮 三	24
関東支部	相 談 役	岡 田 孝 行	33
	代 表 幹 事	尾 瀬 俊 憲	40
	副 代 表	吉 岡 秋 市 郎	40
会 計	松 本 直 弘	40	

事務局からのお知らせ

平成24年に創立90周年の記念事業として同窓会名簿を発行し、1冊5,000円で販売しております。購入を希望される方は同窓会事務局までお知らせ下さい。

名簿の使用につきましては、悪用なきようお願いいたします。

尚、同窓会事務局を名乗る者から不審な電話がかかってくる事例がありますので御注意ください。

担 当	峰山高校同窓会事務局 井上繁之
電 話	0772-62-1012
F A X	0772-62-1013
E-mail	inoue-s@kyoto-be.ne.jp

会報賛助金のお願い

この会報は、皆様の賛助金を頼りに発行しております。会報の継続的な発行のため、賛助金の御協力をよろしくお願いします。

1 □ 2,000円

御送金は、同封の郵便振込用紙を御利用下さい。

編集後記

同窓会員の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

ここに同窓会報第10号をお届けできますことを嬉しく思います。

前号から早3年が過ぎましたが、色々な同窓会が報告されています。現在の立場を離れて「オレ・オマエ」の関係に戻れる場というのは、人生を生きてゆく上での一つの拠り所となるものではないでしょうか。同窓会にはこういった横の関係性もあれば縦の関係性もあります。去年は同窓生の野村克也氏や高倉義典氏に峰山高校に講演に来ていただき、現役の高校生に熱いメッセージを送っていただきました。

峰山高校スローガン(校是)の響みに倣って言えば、こういった縦糸と横糸がしっかり厚く織りなされてゆくような峰山高校同窓会という「高き理想」を持って歩みたいと思います。